

日本衛星ビジネス協会は、平成 27 年 7 月 22 日（木）、陸上自衛隊の久里浜駐屯地にて今年度第 1 回目となる施設見学会を開催しました。当日は学生 6 名を含む総勢 33 名が参加し、通信学校及び中央野外通信群が保有している衛星通信器材等の見学を行いました。



久里浜駐屯地は、昭和 14 年（戦前）「海軍通信学校」として開設し、昭和 25 年の警察予備隊発足当時から続くもっとも古い駐屯地です。

見学会では、まず初めに通信学校の概要や保有している衛星通信器材についてご説明を頂きました。通信学校は陸上自衛隊の職種のひとつである通信科の要員教育を任務としている陸上自衛隊唯一の部隊です。座学や実習の他、教範の作成等も行っているそうです。



衛星通信器材の展示では、次の 3 つの装置について展示及びご説明を頂きました。



衛星可搬局装置 I 型



衛星単一通信可搬局装置



衛星幹線通信システム携帯局

衛星可搬局装置 I 型は、基地間のハックノック通信や被災地での通信組織構成の他、首相視察の状況をニコニコ動画で中継するための映像伝送等も行っております。また衛星単一通信可搬局装置や衛星幹線通信システム携帯局は、指揮統制や情報伝送等、陸上自衛隊の活動を支える様々な用途で使用されております。

日ごろ目にすることのない様々な器材を見学させて頂き、また展示の際には、隊員の方から衛星通信器材の運用の仕方や使い勝手等について、貴重なお話を聞かせて頂くことが出来ました。

最後に駐屯地内にある歴史館を見学させて頂きました。海軍通信学校時代の無線機や生活用品、陸上自衛隊の通信器材、山下奉文大将の手紙、旧軍の資料等、歴史ある様々な貴重な品々を拝見することが出来ました。



今回の施設見学会では、衛星通信の教育を任務としている通信学校の方々から、様々なお話を伺うことが出来ました。また、こうした利用者と提供者の交流が、衛星業界発展のために重要であることを改めて認識することが出来ました。当協会としても、こうした機会を設けていけるよう、引き続き努めていきたいと思っております。

ご多忙の中、施設見学会を受け入れて頂きました通信学校、中央野外通信群の皆様、本当に有難うございました。